



洗心

令和5年度卒業式号
令和6年1月20日発行
発行所
近畿大学附属
新宮高等学校
中学校
新宮市新宮 4966 番地

第五十九回 高等学校 卒業証書授与式

式 辞

校長 池上 博基



校庭にも学園の徽章、梅の花がほころび始めた今日
よき日に、和歌山県知事代理、東牟婁振興局長 鳥羽真
司様、並びに新宮市長 田岡実千年様をはじめ多数のご
来賓、そして保護者の皆様のご臨席を賜り、第五十九回
近畿大学附属新宮高等学校 卒業証書授与式を盛大に
挙行できますことを心より感謝申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与しました卒業生一四名の皆
さん、ご卒業おめでとうございます。一人ひとりが三年
間、中高一貫の卒業生は六年間、たゆまぬ努力を積み重
ね、本日、卒業という生涯忘れられない日を迎えること
ができました。その努力に対し、心から拍手を送り、祝
福したいと思います。

保護者の皆様、長い間、陰に日向に、時には共に笑い、
時には心を痛めながら、ここまで育ててくれたことに
敬意を表しますとともに、心からお祝い申し上げます

卒業式は生徒にとって、最も重要視される集大成の学
校行事です。学校にとっても、学校自身の教育成果が問
われる儀式です。われわれ教員が、「本校で学んでくれ
てありがとう」、「本校の学校生活で学んだこと、努力し
たことを忘れずこれからも頑張ってください」と感謝と
激励をする行事です。教職員一同、皆さんの心に残る卒
業式になればと願っています。

また、近大新宮祭の講評でも述べましたが、皆さんが
最高学年である令和5年度、本校同窓生や地域の方々か
ら「生徒さんの雰囲気がいいね。学校の雰囲気がいいね。」
という言葉が数多くいただきました。雰囲気とは、場所
や人が自然に出している気分や気配のことをいいます。
「雰囲気がいいね。」という言葉は、学校にとって最高
の褒め言葉です。そのような雰囲気を作り出してくれた
皆さんに、重ねてお礼を申し上げたいと思います。あり
がとうございました。

さて、三年前、コロナ禍の中、皆さんは近畿大学附属
新宮高等学校に入学されました。その入学式で、近畿大
学前学長、新宮市出身の塩崎均先生の言葉をご紹介しま
した。

塩崎先生が近畿大学医学部長時代に作成された、「研
修医心得」の中に、「患者さんを好きになれ。」「どんなこ
とがあってもあきらめ手術はするな。」「楽しい生活を送
れ。忙しさと楽しさは相及するものではない。」という
言葉があり、この言葉は、われわれ近大新宮の教師にも
当てはまる心得であり、近大新宮の教育方針の一つであ
るとお話ししました。

「生徒を好きになれ。」
生徒を好きになれない教師は生徒のための教育に工
夫することをおろそかにします。
「どんなことがあってもあきらめ教育はするな。」
生徒はいつも前進できるとは限りません。失敗し、学

校に行きたくないと思うこともあるかもしれません。そ
のとき教師はあきらめ教育をしてはいけません。
「楽しい生活を送れ、忙しさと楽しさは相及するもので
はない。」

本校は、生徒も教師も「ゆったりとした働き者」であ
ることを理想とし、生徒にとっても教師にとっても、楽
しい場所でありたいと考えます。忙しさと楽しさは相及
するものではありません。

卒業生の皆さん、卒業は新しいステージへの旅立ちで
す。これからさまざまな出会いがあります。新たに出会
う人を好きになってください。また、人生を重ねる中、
さまざまな苦労や課題に遭遇することがあるでしょう。
あきらめ人生を送るのでなく、自分のすばらしい人生を
大切にしてください。そして、忙しさと楽しさが実感で
きる「ゆったりとした働き者」になってください。
近畿大学附属新宮高等学校の卒業生として、自信と誇り
を胸に激動の社会を力強く生き抜いてください。

結びにあたり、本日の卒業を祝し、ご列席を賜りまし
た、ご来賓の方々、保護者の皆様には重ねてお礼申しあ
げますとともに、今日まで本校に寄せられました温かい
ご理解とご協力に対しまして心より感謝申し上げます。

卒業生一人ひとりの限りない前途を祝福し、私の式辞
といたします。

令和六年一月二十日
近畿大学附属新宮高等学校
校長 池上博基

答 辞

二年E組 梅崎 光

凜とした空気が身を引き締め、冬の寒さがより一層深まる季節になりました。本日は私たち卒業生のためにこのような式典を準備してくださいありがとうございます。また、ご臨席くださいましたご来賓の皆様、保護者の皆様、在校生の皆さん、先生方ありがとうございます。卒業生一同心よりお礼申し上げます。

今振り返ると、入学してからの高校三年間はあつという間でした。新しい環境で新しい制服に身を包み、不安と期待で胸を膨らませながら近大新宮の校門をくぐった三年前、校舎から見える大きな海も、学校を囲む緑もそれを包む広い空も何から何まで全てが新鮮でした。しかし私たちの高校生活は新型コロナウイルスの影響により様々のことを制限されてきました。二〇二三年に入ってから少しずつ新型コロナウイルスの影響が落ち着き始め、三年生になつて初めて体育祭や文化祭を外部の方々や保護者の方々と一緒に開催することができました。

初めての外部も含めた文化祭、最初は少し不安で、「うまくいくのかな」と思うこともありましたが、始まってみると最初の不安が嘘だったかのように時間が経つのが一瞬でした。みんなで協力して作り上げる文化祭はとても忘れられない二日間になりました。体育祭では、必死で自分のチームを応援したり、競技に全力で挑み、チームと協力する姿は、とても素晴らしいものでした。

行事だけでなく、三年生は受験や自分と向き合っていく大切な時期です。自分の将来に向けて努力する姿や、部活動に打ち込む姿を見てきました。勉強や部活動で良い結果を出したり良いことがあった反面、うまく行かないことや、何も手につかないくらい落ち込むこともあったと思います。しかし、ここで培った能力や経験はこれからの私たちの一生の財産になります。

現在、地震の発生が多く続き、石川県などでは多大な被害を受けている方々があります。こうしている今も被災地で寒い思いや、辛い思いをしている人たちがいる中、今日まで無事に卒業式を迎えられたことに本当に感謝しています。

先生方には大変お世話になりました。勉強でわからないところがあればわかるまで教えてくださったり、進路のことや、悩み事があれば真剣に向き合ってくれました。また、行事などでは生徒と

一緒になつて全力で取り組んでくださるなど、高校生活を楽しく充実させられたのは先生方のサポートがあつてこそだと思います。三年間本当にありがとうございました。

そして、私たちをここまで育ててくれたお父さん、お母さん、たくさん迷惑もかけました。たくさん相談も乗ってくれました。一番近くで寄り添ってくれました。私たちのいまがあるのも、家族のおかげです。これからまだまだお世話になります。十八年間育ててくれて本当にありがとうございます。

在校生の皆さん、高校生活は本当にあつという間で、かけがえないものです。残りの学校生活、人間関係、部活動、勉強、行事、全力で取り組んで、全力で楽しんでください。高校で過ごした三年間という長いようで短い時間は、これからの人生を豊かにしてくれます。辛いことや、困難な壁にぶつかることがあつても、その経験は決して無駄にはなりません。自分の進んだ道を信じて突き進みつけてください。

最後になりましたが、今までお世話になつた全ての方々へ感謝とお礼を申し上げます。答辞といたします。

送 辞

二年A組 東 洸太朗

桜咲く美しい春を待ち望むつばみ達が、初春の柔らかな日差しに映える今日の佳き日に、この近畿大学附属新宮高等学校を巣立つ三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表し、心よりお祝い申し上げます。

本校で多くのことを成し遂げてきた先輩方の晴れやかな眼差しに、私たちは嬉しさと誇らしさ、そして一抹の寂しさを感じずにはいられません。それ程、先輩方は私たちにとって大きな存在でした。

今、先輩方の胸には、かけがえない三年間の思い出が溢れているのではないのでしょうか。私たち在校生にも、先輩方と共に過ごした数々の思い出が蘇ってきます。部活動や近大新宮祭では、厳しさの中にこそ楽しさや喜びがあるということ、互いに信頼し合い最後まで諦めないことを教えていただきました。

また、進路決定においては、自らの進路実現に向け努力を惜しまない熱意、目標に向かって努力することの尊さや厳しさを先輩方の姿を見ることで思い知りました。次は自分たちの番だと身の引き締めまる思いがします。夢の実現に向かって進んでいくことは、容易なことではないでしょう。しかし、そんなときこそ先輩方がこれまで乗り越えてきた苦難や、仲間との楽しい思い出、この学び舎で身につけた知識が役立つのだと思います。ここで巡り会った人たちの絆を生涯の宝とし、信念を持って未来を切り拓いていくってください。

私たちが在校生も本校の校訓である「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人になろう」の精神を心に刻み、先輩方が築き上げてこられた、この近畿大学附属新宮高等学校を大切に、その伝統を受け継ぎ、さらに発展させる覚悟です。先輩方には、今後とも温かく見守りご支援くださいますよう心からお願ひ申し上げます。

そして疲れたときにはいつでも帰ることの出来る場所があることを忘れずにいてください。私たちの故郷新宮のことを。母校である近畿大学附属新宮高等学校のことを。いつもいつまでも変わらず支えてくれる家族のことを。

先輩方のご健康とご活躍を祈念して、在校生代表の送辞といたします。

先生方から贈る言葉

三年A組 担任 森田 直樹



ご卒業おめでとうございます。

担任が決まった中学校三年生の四月、新型コロナウイルス感染拡大のため自宅学習に変わってしまいました。君たちと話すのも、オンラインになり、様々な不安を抱えたままのスタートでした。ただ、月日が経つにつれて君たちの素直さや物事への一生懸命な姿勢を感じることができ、当初の不安は消えていきました。その後の四年は瞬く間に経ち、君たちと過ごす生活が当たり前になっていました。

今日の卒業とともに、君たちは本校での学校生活を離れることとなります。君たちが周りにいるのが日常になっていた私にとって、君たちがいなくなることには不安を感じています。ですが、お互いに未来のために歩みを進めて行きましょう。また、どこかで会える日を楽しみにしています。

三年B組 担任 福田 茂



卒業おめでとうございます。

昨年四月、君たちは私を中高一貫六年間の最後の担任として、私は君たちを広島からの人事交流三年間の最後のクラスメイトとして、お互いは出会いました。とてもあったかく明るい笑顔で私を迎えてくれたこと、今でも鮮明に覚えています。

今思い返せば、たくさんの素晴らしい思い出ばかりです。私の誕生日、教卓に山積みのお供え物（プレゼント？）を頂いたこと（メッセージは今でも大事にとっていますよ）。私の毎月の広島土産の「もみじ饅頭」をおいしそうに食べてくれたこと。私の未熟なギターの弾き語りを嫌な顔をせず（？）聞いてくれたこと。まさに担任冥利に尽きる一年間でした。私のことばかりで恐縮です。

教員らしいことも少し書かせてください。学級訓として

「素直に努力、謙虚に感謝」を掲げています。この言葉は今後、卒業してからもぜひ大切にしていってほしいと考えています。しかし、あくまでこの言葉は高校生にむけた言葉です。皆さんはこれから大学生になり、社会人となり、今まで通りではないかない場面に遭遇することでしょう。

素直なだけでは通用しないことも多くあります。努力しても結果が出ないことも、努力しなくても評価されることも多くあります。謙虚な姿勢を崩し、強く自分の意見を主張しなければならぬこともあると思います。けれども、皆さんがどんなに成長しようと、世界がどんなに変わっていくと、「感謝の気持ち」だけは、一生、持ち続けてください。「ありがとう」って言葉は、一生、言い続けてください。

本当にありがとう！
何度も言ってきましたが、君たちのこと、本当に大好きです！
本当にありがとう！

三年C組 担任 森 一之



青すぎた春を 忘れずにいたいと 語るは 友との地図
駆けるは 人の旅路

三年D組 担任 上原 尚樹



僕と君とでは何が違う？

でもね 僕は何かに怯えている

おなじ生き物さ 分かっている
みんなも そうならいいな

がむしゃらに生きてだれが笑う？

いつも僕は 自分に言い聞かせる

悲しみきるには 早すぎる
明日もあるしね

ああ なんて素敵なお日だ

幸せと思える今日も 夢破れ挫折する今日も

ああ あきらめず 足掻いている

狭い広い世界で 奇跡を唄う

僕らは知っている 空への飛び方も 大人になるにつれ忘れる

限りある永遠も 治りきらない傷も

すべて僕のこと 今日という僕のこと

得ては失う日々 意味はある？ 伝わることのない想いもある

だから僕は時々寂しくなる みんなもそうなら 少しは楽かな

僕だけじゃないと 思えるかな

ああ なんて素敵なお日だ

誰かを好きでいる今日も 頬濡らし眠れる今日も

ああ 嘆くにはほど遠い

狭い広い世界で 僕らは唄う

冬に咲く花に 命が芽吹くよ

駆けるは 雪の大地

僕らは知っている 奇跡は死んでいる

努力も孤独も 報われないことがある

だけどもね それでもね 今日まで歩いてきた

日々を人は呼ぶ それがね 軌跡だと

ああ なんて素敵なお日だ

幸せに悩める今日も ボロボロになれている今日も

ああ 息をして足掻いている

すべて僕のこと あの日の僕らのこと

僕と君とでは何が違う？

僕は僕として いまを生きてゆく

3年前に出会ったキセキ、3年間でつくったキズナ、

3年間で感じたキボウ

卒業おめでとう

卒業おめでとう

これからのみんなの旅に 多くの幸運がありますように

いってらっしゃい

いつも僕はおしゃべりが過ぎるので、今回は短めに。

卒業おめでとう。

こんな祝うべき日に縁起でもないことを言うようですが、

人生は有限です。いつか終わります。その有限である人生を

充実して過ごすために、みんなには常に「追っ手」であって

ほしいと思います。「○○に言われたから」とか、「みんなや

ってるから」とか、そんな理由で動くのは「逃げ手」「追われ

手」の論理です。周りに流されずに自分自身で決めて、常に

「追っ手」の論理で動く。そのほうがきっと人生は楽しいと

思います。

さてと、僕も追わねば……。

先に行きます。それではまた。

三年E組 担任 大倉 佑介



卒業おめでとう。

高校三年間の思い出は楽しいことだけでなく、大変なこと

もたくさんあり、様々な壁にぶち当たってきたと思います。

でも、みなさんは多くの人に応援され、支えられ、その壁を

乗り越えてきました。これまで、みなさんを応援し、支えて

くれた方たちへの感謝を忘れず、新たなステージで大暴れし

てください。そして、これからも多くの人に「応援される人」

であり続けてください。みなさんが応援し、支えたいと思う

人はどんな人ですか？

それでは、また。

各賞受賞者

近畿大学学園賞

B組 田岡 結

校長賞

A組 吉峰 陽哉

和歌山県知事賞

B組 山本 玲

私立中高連合会長賞

C組 坪内 沙和

スポーツ功労賞

空手道部 仲岡 朔葉 (A組)

なぎなた部 谷口 優依 (A組)

なぎなた部 森本 新奈 (B組)

〔皆勤賞〕

A組 宇城 凜音、近藤 沙有姫、杉浦 陽菜

B組 榎田 匠、山田 依桜里

C組 脇本 苺佳

E組 小山 仁汰、平 みずき

後輩からのメッセージ

《硬式野球部》

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。いつも優しく、時に厳しく、常に頼りになる先輩方でした。先輩方が叶えることのできなかった甲子園という目標を達成できるように頑張ります。これからは、それぞれいろいろな道に進んでいくと思いますが、更なるご活躍を期待しています。今後とも応援よろしくお祈りします。

《卓球部》

ご卒業おめでとうございます。先輩方のおかげですごく楽しく、温かい環境で部活動ができ、感謝の気持ちでいっぱいです。試合中のプレーにいつも圧倒されていました。また、私たちにも優しくいろいろなことを指導していただき、日々成長することができました。今後も先輩方をお手本に練習に励んでいきたいと思っています。今まで本当にお世話になりました。大学に行っても頑張ってください。

《なぎなた部》

ご卒業おめでとうございます。

先輩方はいつも優しく明るく笑顔で接してくださいました。稽古の時、大会の時には、たくさん応援や声かけをしてくださり、とても心強くて何事にも全力で取り組む先輩方は、とてもかっこよかったです。

先輩方の部活に対する想いや姿勢を尊敬しています。初めての遠征で不安でいっぱいだった時も先輩方の声掛けに救われました。

一緒に稽古をすることができてとても嬉しかったです。

本当にありがとうございました。

これからも笑顔忘れず未来に向かって頑張ってください。

なぎなた部一同



《ソフトテニス部》

ご卒業おめでとうございます。
ソフトテニス部は部員数もかなり少なく、できる練習メニューも限られていて、準備や片付けも大変でした。でも、少人数だったからこそ学年をまたいでも仲が良く、いつもクラブの雰囲気がとても良かったんです。三年生が引退してからさらに人数も減り、寂しいですが、教えていただいたことを生かして頑張っていけます。
これからはそれぞれ別の道を歩むと思いますが、夢に向かって頑張ってください。ソフトテニス部員一同応援しています。

《サッカー部》

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。
みなさんと過ごした時間はかけがえない時間でした。僕たちは未熟なところもありますが、みなさんから学んだことを活かして成長していきたいと思っています。
今までありがとうございました。

《女子バレーボール部》

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。
いつも明るい先輩たちのおかげで部活に行くのがすごく楽しかったです。先輩たちの一生懸命な姿を見て、大変な練習のときでも頑張ろうと思えました。部活以外のことも真剣に相談に乗ってくれて、とても親しくしてくれた先輩たちが本当に大好きです。卒業してからも、明るい先輩たちのまま頑張ってください。応援しています！
本当にありがとうございました。

《女子バスケットボール部》

先輩方、ご卒業おめでとうございます。
先輩方は、私たちにとって大きな存在で、私たちが落ち込んだときや困っているときはいつも優しく慰めてくれたり、たくさん相談にのってくれたりして、支えてもらいました。ありがとうございました。そんな先輩方と一緒に目標だったベスト8が達成でき、とても嬉しかったです。
これからも大変なことがたくさんあると思いますが、夢に向かって頑張ってください。後輩一同、応援しています。

《男子バスケットボール部》

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。
いつも優しく、時に厳しく教えていただき、ありがとうございました。頼りになる方々がいなくなる不安はありますが、先輩方の後を引き継ぎ、僕たちも頑張ります。先輩方も大学でも頑張ってください。
これからの活躍を部員一同応援しています。

《空手道部》

三年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。
先輩方との稽古、そして会話は後輩である私たちにとって大変有意義な時間でした。また、先輩方がつくりだす雰囲気には大会時の緊張する場面で本心に助けられました。いつも皆の中心として活躍されている姿を見て、心を動かされてきました。これから先輩方から学んだことを胸に刻み、より頑張っていこうと思います。お互いに苦しい時もあるかと思いますが、将来のため臥薪嘗胆で頑張っていきましょう。
最後になりますが、今まで本当にありがとうございました。

《美術部》

先輩、ご卒業おめでとうございます。
先輩の作品はオリジナリティに溢れたものばかりで、すごく参考になりました。また、私たちが作品の制作途中で困っているときにアドバイスをくださり、すごく勉強になりました。先輩のこれからの活躍を応援しています。ありがとうございました。

《書道部》

ご卒業おめでとうございます。
今年度は書道パフォーマンスをする機会が多く、準備の段階から本番にかけて未熟な私たちが引っ張ってくださり、とても心強かったです。ハプニングもありましたが、柔軟に対応する先輩方はかっこよかったですし、学ぶことがたくさんありました。みんなでワイワイ話しながら楽しく活動できたのは先輩方のおかげです。次は私たちが「本番に強い書道部」を守っていきます。
本当にありがとうございました。これからも夢に向かって頑張ってください。

《吹奏楽部》

ご卒業おめでとうございます。
先輩は私たちがどんなにしんどい時でも、常に前向きな言葉をかけて励ましてくれたり、楽しいことを言って、心から笑わせたりしてくれました。特に私たち二年生には、先輩が一番近くで一番長く一緒に過ごしてきたので、大切な家族のような存在です。

練習にひたむきな姿、他のクラブと兼部しながら頑張る姿、楽器愛に溢れていて、たくさんカスタマイズする姿、恐竜の着ぐるみでみんなを楽しませる姿、誰よりも熱くみんなのことを考え続ける姿、私たちと一緒に外で寒い中練習する時間をつくってくれる姿、一緒に怒られて励ましてくれる姿、いつも屈託のない笑顔の姿、マイペースな姿、その先輩の数多くの姿にたくさんさんの刺激をもらい、高い意識で練習に本番に臨むことができました。そんなたくさんさんの魅力で溢れる高校三年生と一つの音楽を創りあげていくのは、本当に大好きな時間でした。
先輩がいなくなるのはとても寂しいですが、これからもみなさんの想いを受け継ぎ、たくさんさんの音を紡いでいきます。また定期演奏会で演奏できることを楽しみにしています。餃子食べにいきましょう！

《茶道部》

ご卒業おめでとうございます。
入部した頃の頃、何もわからなかった私たちに、お点前の手順やお茶のいただき方などを丁寧に教えてくださりありがとうございました。先輩方が温かく迎え入れてくださったおかげで、初心者や経験者、学年やクラスを問わず楽しく過ごすことができました。毎週茶道のお稽古に行くのが本当に楽しかったです。次は、私たちがその雰囲気を引き継いでいけるように頑張ります。
卒業されるのは寂しいですが、大学での活躍を応援しています。帰省された際にはまた一緒にお茶を楽しみましょう！

《ダンスサークル》

ご卒業おめでとうございます！
部活に来るたび雰囲気盛り上げ明るくしてくれる先輩方に感謝しています。最後まで、みんなで一緒にダンスパフォーマンスができてとても楽しかったです。先輩方の姿を見習ってダンスサークルを盛り上げていきたいです。本当にありがとうございました。地元に戻って来たときは、是非部活を見に来てください！
先輩方の今後の活躍をダンスサークル一同応援しています。

Congratulations on your graduation!

この度はご卒業おめでとうございます！

気づけば令和5年目の冬も終わりに近づき、別れと出会いの季節になりました。高校生のスーパーサイエンス部員の先輩としてその白衣姿の背中を追い続けてきてはや2年。本当にあっという間だったように思います。初めて出会った時はどんなふうに接すればいいかわからず、なんとなく同じ学年同士で固まってしまっていました。そんな時、先輩方の方から話しかけてくださいましたね。関わるうちに優しい人だということもだんだんわかってきて、部活の雰囲気も和んだものになっていったのを今でも覚えています。新入部員が入ってきて後輩ができてからも、いつも参考にしていたのは先輩方の姿でした。

これから行く新しい場所ではさまざまな出会いや別れがあったり楽しいことだけでなく困難なこともあると思います。でもこの学校で頑張っていた先輩方ならきっと乗り越えられると確信しています。後輩とはいえ初めて会う人に話しかけにいったその勇気と笑顔を忘れずに新しい場所でも頑張ってください。いつか思い出を振り返った時にこの学校、そしてこのスーパーサイエンス部でのことを思い出してくれたら幸いです。私達も先輩方との思い出を忘れません。先輩方の新しい環境での益々のご活躍を心からお祈りしています。本当にお世話になりました！



2023年度 スーパーサイエンス部

